

## 挑戦

四和小学校 六年 黒田 記央

私が頑張っていることは、挑戦することです。

習い事のバレーボールや学校生活、様々な場面で挑戦することを意識しています。この作文を書くことも、挑戦したうちの一つです。

今までの私なら、発表や何かの役員の立候補など、しませんでした。しかし、今年の学年目標に、挑戦という言葉が入っていました。私はその言葉を見た時、自分の意志で、何か周りのため、自分のためになる行動をしようと思いました。

私は今、一番挑戦してよかったと思っていることがあります。バレーボールです。

私は、バレーボールを通して、挑戦の大切さを学びました。

去年の六年生の代から、自分達の代へ変わった時、大事な大会がすぐに始まりました。

そんな中、私の悪い所、もっとのぼしていける所などを、教えてくれる、かんとく、コーチ、遠征での引率をしてくれる保護者の方々は、私が成長できる機会をたくさん設けてくださいました。

いろいろと強化をしていき、慣れない、新しい動きもおぼえました。

やっと、ちゃんと動けるようになったころ、きんちょうした雰囲気、練習の成果が出せる本番が始まりました。

大切な場面で、私は、完璧に出来るかは、分からないけれど、チームのため自分のために、挑戦することを決めました。

この時、思ったのは、

「ここでミスをして、後かいはしない。」

という、気持ちです。今でも、このように考えることができたことにおどろいています。

結果は成功し、その後も勝ち進み準優勝という成績をもらうことができました。しかし、この結果以外にも、得たものが、あります。それは、自信です。

挑戦すると、自信もつき、たくさんの人と出会うこともできました。それに、考え方も変わりました。

例えば、自分より、周りのため。悪いことより、よいこと。このように、全体的にプラス思考になったと感じます。

学校生活でも、一ヶ月間で挑戦することがたくさんありました。

6年生になり、あらゆる行事へ関わって、役員も仕事も増え、その分私にと

つての、挑戦する機会も増えました。とてもありがたいです。

その他、授業などで挙手する、元気に返事など、うまくいかないこともあるけど、これから、どんどんできるように、挑戦し続けたいと思います。

そして、小学校生活最後の一年を、挑戦する年にしたいと思います。

挑戦をして、失敗をおそれるのは、すごくもったいないと、今では感じます。

挑戦は、新しいことを学べたり、自信を持つことができたりと、自分を大きく成長させてくれます。

これはあくまでも私の考えですが、これから不安、おそれはたくさんあるけれど、このような苦しい場面でこそ、自信を持って挑戦することが大事だと考えます。そうすると、だれかが声をかけてくれるからです。

私がうまくいかない、失敗がこわい、となやむ時、思い切って、お母さんに相談してみました。すると、はげましてくれたり、アドバイスをしてくれました。すごく気持ちが軽く、明るくなりました。

相談をすることも、挑戦のうちの一つだと思います。なので、相談をするのも大切だし、相談されると、人の挑戦を手伝うことも、できているのか、と思いました。

お母さんに相談をすると、

「神様は乗り越えられない壁は与えないよ。」と話してくれます。

最初は、なぜそんな試練を与えるのだろうと思っていましたが、今の私にはその試練が、その時の自分に必要なことを、自分で得るための試練だと感じます。

これからは、未知の世界にも興味を持って、たくさんの挑戦をしていきたいです。

そして、これからの四和小学校のためにも、委員会、行事、全て一生懸命に取り組んでいき、今までよりもよい人間関係を築くことや、プラス思考で過ごすことで、明るく協力できる四和小学校に近づくことができると思います。

私だけではなく、みんなでたくさん挑戦し、四和小学校をよい学校にしたいです。

私が今までお世話になり、これからもお世話になるたくさんの人達へ、挑戦した結果で、少しでも感謝を伝えられたらと思います。